

ANNAを受入



最初は少し緊張しましたが、お互いの文化を教え合ったり、日本ならではの食事や浴衣と一緒に楽しむことで打ち解けることができ、良い思い出になりました。

金田義路 (前期) 6年生 矢島 望遥 さん

SOPHIAを受入



ホームステイの受入中は、スマートフォンのアプリケーションや簡単な単語のみで会話しましたが、将来は、自分の言葉で直接話せるようになります。

金田義路 (前期) 6年生 寺尾 菜 さん

STEVENを受入



交流する中で「自分も将来台湾に行ってみたい」と感じるようになりました。これから英語や中国語を勉強して、またステイプンたちに会いたいです。

市川小 5年生 菅野 由利 さん

RAYを受入



ホームステイ中は、レイとゲームや花火をして、とても楽しかったです。来年も「BRIDGE Summer Camp」のようなイベントがあれば、ぜひ参加したいと思います。

市川小 4年生 高本 湊太郎 くん

VOICE

福智町から参加した子どもたちの感想をご紹介します

台湾の子どもたちを初受入 新たに紡いだ日台友好の輪

多彩な国際交流事業を展開する「NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡(A.P.C.C)」が主催し、海外の子どもたちを招いて交流する「BRIDGE Summer Camp」。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となる今年、福智町は受入市町村として初めて参加しました。記念すべき1回目は、台湾・新竹市のこども大使4人、引率者1人が来町。民泊先として4家庭のご協力を得て、7月18日から6日間にわたる

about TAIWAN

Population 人口
約2,326万人(2022年12月現在)

Area 面積
3,600km²(九州よりやや小さい)

Language 言語
中国語、台湾語、客家語など

福智町での交流が実現しました。初日に行われた「対面式」で初めて顔を合わせた台湾と町の子もたち。最初は緊張と不安、言語の違いなどで上手にコミュニケーションが取れず、学校登校、授業体験、ふくちのち見学、ワークショップ、上野焼絵付け体験、ふれあい塾でのキャンプなどの特別な交流を通して、言語や国籍、文化などの違いを超えて友情を育むことができました。最終日には、名残惜しそうにハグしたり、連絡先を交換しながら、未来の再会を約束していました。

民泊家庭で最後の夜過ごし翌日再会誓い帰国を見送り

→各民泊家庭で台湾の子もたちと思いで作った翌日、ついに帰国の時が。空港で大粒の涙を拭いながら「Good bye(さようなら)」ではなく「See you(またね)」を伝え合っていました。

Global Education 1

BRIDGE Summer Camp

We are the BRIDGE
つなげます。世界の夢を

BRIDGE KIDS PROGRAM 2023 in FUKUCHI



Topic 1
7月 22・24日

民泊家庭で最後の夜過ごし翌日再会誓い帰国を見送り

Topic 2
7月 21日

日本・福智町の夏を満喫しより深めた国籍超える友情

Topic 3
7月 19・20日

町の子もたちと学校登校教室で共に学び異文化交流

Topic 4
7月 18日

台湾・新竹の皆さんと初対面歓迎式典後、民泊スタート